

事業実績書

団体名	名田島自治会連合会
-----	-----------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

会員や委員からの意見や提案を積極的に取り入れ、平成30年度作成した第3次名田島地区協働のまちづくり計画を推進する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	名田島に新しい魅力を創出し、地区内外に発信(名田島地区フットパスの構築)		
	事業名	第3次計画推進費	決算額	110,880円
②	視点	名田島の情報を共有し、良さをアピール(名田島のPR事業)		
	事業名	広報活動	決算額	566,460円
③	視点	運動の促進、地域コミュニティの醸成		
	事業名	小学校芝生化グラウンド利用促進事業	決算額	196,225円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地区内に3コースを設定することとし、第1コースの「向山コース」の第2弾として地区民を対象としたイベントを秋に実施しノウハウの継承が出来た。第2コースの「島・東開作・西開作コース」構築のため、試し歩きを2回実施しパンフレット原案作成に至った。次年度以降、「向山コース」の更なる活用と「島・東開作・西開作コース」の完成とお披露目開催を目指したい。また、第3コースの「新開作・昭和コース」の構築に着手したい。	○
②広報紙「田園」を年3回、委員会の会議報告を中心とした「自治会連合会だより」を毎月発行し、地域内の情報共有に努めた。ホームページの拡充を図るとともに、フェイスブックによりイベントや地域の原風景をリアルタイムに発信し、閲覧者の拡大に努力した。	◎
③芝生の管理は天候に悩まされながらも、しばもり隊や小学校の先生・PTAの協力も得て適正に管理することが出来た。芝生化のグラウンド利活用により運動の促進や地域住民・ボランティア同士のコミュニティの場にもつながっている。今後も適切な管理に努め地域住民交流の拠点となるよう更なる利活用について努力したい。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

新型コロナウイルス感染症の中で、関係機関・団体と協議を重ね前年度以上の取り組みを行うことが出来た。イベント関係では、春に地区民が交流する「地区民体育大会」は中止となったが夏の「ちょうちんちよこまつり」と秋の「ふるさとまつり」は規模を縮小する等の工夫をし3年ぶりに開催したところ予想を超える多くの参加者を得ることが出来た。集落において実施する市道美化事業、しばもり隊が行う小学校芝生化グラウンドの適正な維持管理、ボランティア会員がPTAと協働して行う通学路の清掃活動は例年どおり実施した。その他の事業も検討等を行い継続して実施したが中止となった事業もあった。今後、中止や規模縮小した事業全般について再検討を行い、第4次名田島地区協働のまちづくり計画につなげていきたい。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3, 616, 454円
事業概要	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務員2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 年間を通じて円滑な事務局運営が出来た。 (今後に向けて) 各委員・各種団体・地域の方々と一層の連携を深め情報交換や交流を行い、第4次名田島地区協働まちづくり計画策定に寄与したい。</p>

(2) 地域振興

事業名	一集落一事業
事業費	86, 691円
事業概要	<p>(実施内容) 単位自治会が新たに行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成する。 (実施時期) 6～1月 (参加人数) 5集落自治会 (成果) 集落における連帯感が生まれた。 (評価) 事業の開催が困難な中で、創意工夫し伝統行事の継承(神楽等)・しめ縄作りなど次世代へ伝える事業が開催された。 (今後に向けて) 次年度も継続事業とし、各集落自治会の事業参加を図りたい。</p>

事業名	広報活動
事業費	566, 460円
事業概要	<p>(実施内容) ①総会資料 ②広報紙「田園」 ③「自治会連合会だより」による会議等開催の結果報告 ④ホームページ拡充・フェイスブックの定期的な更新 ⑤ipadを活用して名田島の姿をPRした。 (実施時期) ①4月 ②広報紙年3回(7・11・3月) ③毎月1回 ④随時 ⑤随時 (参加人数) 地区内外多数 (成果) ①～③全世帯配布(約500戸) ④随時更新 ⑤随時使用 (評価) 自治会連合会の活動状況を地区民に周知し、また、地区内外に名田島の情報を発信し行事参加者の増加・郷土愛に寄与している。 (今後に向けて) 更なる内容の充実に努めていく。</p>

事業名	イベント補助
事業費	188, 610円
事業概要	<p>(実施内容) ①地区民体育大会 ②ちょうちんちよこまつり ③ふるさとまつり (実施時期) ①中止 ②7月 ③11月 (参加人数) ①中止 ②500人超え ③約800人 (成果) ①中止 ②③3年ぶりの開催であったが、ノウハウの継承が出来た。 (評価) ①中止 ②③種々検討が行われ、十分な感染症対策が講じられて開催された。 (今後に向けて) ①中止 ②イベント内容の工夫 ③イベント規模縮小に伴う内容の検討の形態であったが地域の主要なイベントを通じて地域振興を推進していく。</p>

事業名	第3次計画推進費
事業費	110, 880円
事業概要	<p>(実施内容) ①フットパス「向山コース」第2弾 ②フットパス「島・東開作・西開作コース」の新コース新設</p> <p>(実施時期) ①11月20日 ②7月30日・3月5日試し歩き、10～2月パンフレット原案作成</p> <p>(参加人員) ①31人 ②試し歩き6人+17人=23人</p> <p>(成果) ①前は春に実施したが、今回は晩秋の季節感を満喫した。②役員及び部会員が参加し、短期間でパンフレット原案作成に結びついた。</p> <p>(評価) ①今回も地区民対象の開催となったが、老若男女が参加し交流を深めた。②7月は担当部会員を中心となって踏査し、3月はパンフレット原案を基に役員を含めて検証し身近にある地域資源を再認識した。</p> <p>(今後に向けて) 「向山コース」は地域内外に積極的なPRを行い、お披露目イベントを実施したい。「島・東開作・西開作コース」はパンフレットを作成して、お披露目イベントに向けて準備を加速させたい。</p>

(3) 地域福祉

事業名	健康増進活動
事業費	137, 403円
事業概要	<p>(実施内容) ①健康相談会 ②健康チャレンジウォーキング ③ラジオ体操</p> <p>(実施時期) ①5～3月 ②5月20日、11月10日 ③7～8月</p> <p>(参加人数) ①11集落=86人 ②5月=27人、11月=24人 ③8集落=園児～大人</p> <p>(成果) ①血圧等健康チェックや講話等を通じて生きがいと健康づくりにつながった。②屋外活動を通じて心身共にリフレッシュする機会となった。③健康づくりと共にコミュニケーションが図られた。</p> <p>(評価) ①各集落の自治会長・民生委員・福祉員等が一体となって取り組んだ。②健康維持と共に楽しい交流の場となっている。③三世代の交流の場となっている。</p> <p>(今後に向けて) 中止となった名田島チャレンジデーを含めて関係機関と調整を図り事業継続していく。</p>

事業名	世代間交流事業
事業費	64, 702円
事業概要	<p>(実施内容) ①ちょうちんちょこっとまつり ②三世代交流合同事業(どんど焼き、消火講習会、ミニ抽選会) ③あるけ・あるけ大会</p> <p>(実施時期) ①7月 ②1月9日 ③中止</p> <p>(参加人数) ①500人超え ②約170人 ③中止</p> <p>(成果) ①3年ぶりに開催することができた。②七草・七穀がゆの一部が復活した内容となった。③中止</p> <p>(評価) 十分な感染症対策を講じたうえで実施し、世代間交流が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 以前の内容の復活を目指す但事業内容の検討を行う機会と考えられる。</p>

事業名	こども健全育成補助
事業費	164, 726円
事業概要	<p>(実施内容) 子ども見守り活動・安全チョッキ購入・にこにこ学級等への助成</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 対象者</p> <p>(成果) 見守り活動等の助成等を通じて、元気なこどもの健全育成に貢献出来た。</p> <p>(評価) 各種の助成と活動を継続することにより安心して通学出来る環境が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 子どもたちが健全育成の環境整備に努めたい。</p>

(4) 安心・安全

事業名	地域防災活動の促進
事業費	141,647円
事業概要	<p>(実施内容) ①名田島地区自主防災訓練(避難情報伝達訓練) ①名田島地区災害避難情報アプリ維持・改善、普及 ③防災資器材の備蓄と点検</p> <p>(実施時期) ①8月28日 ②1月22日改善発表会 ③通年</p> <p>(参加人数) ①455世帯 ②31人 ③-</p> <p>(成果) ①継続して実施し、機能確認が出来た。②各種発表会後の改善が行われた。③災害時非常食備蓄入れ替え等が出来た。</p> <p>(評価) ①13集落の全てが参加し、情報伝達網を再確認出来た。②山口学芸大学に開発してもらった避難情報アプリの各発表会を通じて参加者の要望を検討し、今回の改善発表会となり災害避難アプリ構築の関心が深まった。③保管場所や内容・数量等の確認が出来た。</p> <p>(今後に向けて) ①自主防災訓練は4年ぶりに完全な内容で実施したい。②引き続き山口学芸大学と連携し維持・改善、普及に努めたい。③災害非常時に対応するため日常から備蓄と点検に努めたい。</p>

事業名	交通安全対策事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) -(今年度は、カーブミラー設置の申請は行われなかった。)</p> <p>(実施時期) -</p> <p>(参加人数) -</p> <p>(成果) -</p> <p>(評価) -</p> <p>(今後に向けて) 設置要綱の周知を行い、危険個所の解消に努めていく。</p>

(5) 環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	2,472,000円(うち、1,084,000円はソフト事業分から流用)
事業概要	<p>(実施内容) 法定外公共物の整備</p> <p>(実施時期) 令和4年10月～令和5年2月</p> <p>(参加人数) 集落自治会が、工事施工業者に発注</p> <p>(成果) 水路 3件(水路の補修等)</p> <p>(評価) 農業用水路の機能回復が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 今後も、地域からの要望を受け対応していく。</p>

事業名	地域環境づくり
事業費	34,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①有害鳥獣駆除 ②有害鳥獣捕獲等支援事業補助 ③生活環境事業補助</p> <p>(実施時期) ①狩猟期間及び捕獲許可期間 ②通年 ③通年</p> <p>(参加人数) ①地元の山口県吉南猟友会で実施した。②- ③-</p> <p>(成果) ①狩猟に精通し狩猟免許所有者で組織する山口県吉南猟友会に捕獲器(箱なわ)10基を貸与した結果、イノシシ19頭・ヌートリア1頭・狸1頭の捕獲が行われた。②5件の助成を行った。③地域からの申請は無かった。</p> <p>(評価) ①農産物被害の低減と農地の保全に寄与し、耕作環境づくりの推進が図られた。②経費の一部助成を行い負担軽減が図られた。③-</p> <p>(今後に向けて) ①山口県吉南猟友会と緊密に連絡調整し継続していきたい。②狩猟免許取得等支援事業の周知を図り資格従事者の拡充を行いたい。③交付要綱の周知を図りたい。</p>

事業名	地域環境美化
事業費	168, 872円
事業概要	<p>(実施内容) ボランティアクラブとPTAが協働して児童や生徒通学路の草刈り等を実施 (実施時期) 5月・7月・11月 (参加人数) 5月=25人 7月=24人 11月=23人 (成果) 草刈り等により見通しが良くなり、防犯上・交通安全上にも効果があった。 (評価) 榎野川沿いと南若川沿いの通学路を定期的に清掃し、地域の環境美化につながっている。 (今後に向けて) 新規会員の加入促進を図りたい。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	ふるさと大学の開講
事業費	0 円
事業概要	<p>(実施内容) コロナ禍で、集客による事業が出来なかった。 (実施時期) 中止 (参加人数) 中止 (成果) 中止 (評価) 中止 (今後に向けて) 講師の選定を加速し事業継続の方向で検討していく。</p>

事業名	ふるさと探訪
事業費	45, 804円
事業概要	<p>(実施内容) フットパス「島・東開作・西開作コース」の3集落を巡るウォーキング (実施時期) 7月30日 (参加人数) 6人 (成果) フットパスのパンフレット原案作成に寄与した。 (評価) フットパス構築予定地を、部会員で郷土資源確認のため現地踏査を行った。 (今後に向けて) 郷土資源のため、色々な形でウォーキング等を実施していきたい。</p>

事業名	小学校芝生化グラウンド利用推進事業
事業費	196, 225円
事業概要	<p>(実施内容) 定期的な維持管理作業(芝刈り・施肥・散水・冬芝播種・砂入れ等)等の実施 (実施期間) 通年 (参加人数) 328人 (成果) 芝生の維持管理作業が定着している。また、5・6年生による芝刈り体験を通じて芝生の感触を楽しみ芝生化を再認識する機会となった。 (評価) 地域のボランティアで構成される名田島しばもり隊の努力により適正に管理されており、良好な芝生を提供することができた。 (今後に向けて) 今後も適切な管理に努め、地域住民の交流の拠点となるよう更なる利活用を図っていきたい。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。